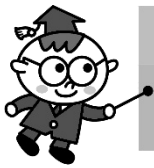


<h1>1月給食たより</h1> <p>○○○○・○○○○・○○○○・○○○○・○○○○</p>	<p>令和2年度</p> <h2>1月号</h2>
<p>毎月19日は食育の日</p>	<p>朝霞市学校給食センター 朝霞第四小学校・朝霞第五小学校</p>

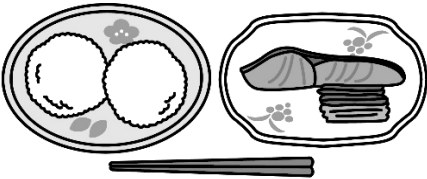
あけましておめでとうございます。いよいよ学年最後の学期となりました。  
 新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症を防ぐには、きちんと手を洗うこと、食事をバランスよく食べること、ストレスや疲れをためないことが重要です。引き続き、一人ひとりが気を付けて、感染を予防しましょう。



1月24日～30日「全国学校給食週間」

## 日本の学校給食の歴史を知ろう！

● **明治22年**  
(1889年)

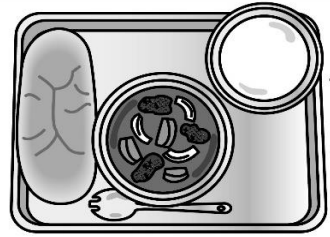


おにぎり 塩ザケ 漬物

日本の学校給食の歴史は、明治22（1889）年に山形県の小学校で、貧しい子どもたちへ昼食を提供したのが始まりとされています。その後、給食の取り組みは全国各地へと広がりましたが、戦争の影響で食料が不足し、実施できなくなってしまいました。

戦後、食料不足のために多くの子どもたちが命を落とす様子を見て、アメリカから小麦粉や脱脂粉乳などの支援物資が送られ、給食が再開されました。物資の贈呈式が行われたのは、昭和21（1946）年12月24日です。これを記念して、冬休みを避けた1か月後の1月24日～30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

● **昭和25年**  
(1950年)



パン ミルク カレーシチュー

● **昭和38年**  
(1963年)



主食として、ソフト麺が登場する

● **昭和39～43年**  
(1964～1968年)



脱脂粉乳から牛乳へ切り替わる

● **昭和51年**  
(1976年)



米飯給食が正式に始まる



昭和29（1954）年には「学校給食法」が制定され、給食が教育活動として実施されることになりました。さらに、平成17（2005）年の「食育基本法」の制定により、学校給食は食育を推進するための生きた教材として、ますます重要な役割を担うようになっていきます。